

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭60-185710

⑬ Int. Cl.⁴ 識別記号 庁内整理番号 ⑭ 公開 昭和60年(1985)12月9日
 F 16 B 37/04 Z-7526-3J
 // F 16 B 5/06 B-6673-3J
 5/07 D-6673-3J
 37/08 7526-3J
 審査請求 有 (全3頁)

⑮ 考案の名称 クリップ

⑯ 実 願 昭59-73760

⑰ 出 願 昭59(1984)5月19日

⑱ 考 案 者 湯 田 清 輝 豊橋市花田町越水140番地
 ⑲ 考 案 者 丸 山 敏 男 豊橋市曙町字若松138番地 グリーンヒル曙403号
 ⑳ 出 願 人 ポップリベット・フア 東京都千代田区麴町4丁目5番地
 スナーク株式会社
 ㉑ 代 理 人 弁理士 中 村 稔 外3名

㉒ 実用新案登録請求の範囲

- (1) 被取付部材をねじ付スタッドが固着された他の部材へ固定するクリップにおいて、被取付部材の取付孔へ挿通できる軸部と、この軸部の一端に設けられ前記取付孔より大径に形成されたフランジと、前記軸部の他端に設けられ前記フランジと協働して被取付部材を挟持する挟持片とが一体に形成され、軸部はその中心にスタッド挿通孔とスタッドのねじに係合する係止爪とを備えており、前記挟持片は軸部を中心として開閉する2つの翼状に形成され、被取付部材への挿通時に閉翼状態に、挿通後被取付部材を挟持する際には開翼状態に維持されるようになっていたことを特徴とするクリップ。
- (2) 挟持片は、軸部端から延びる支柱に対向する2個所でヒンジ連結された一対の翼片から成る実用新案登録請求の範囲第(1)項記載のクリップ。
- (3) 各翼片は閉翼状態に軸部に対して薄肉片を介して連結されている実用新案登録請求の範囲第(2)項記載のクリップ。

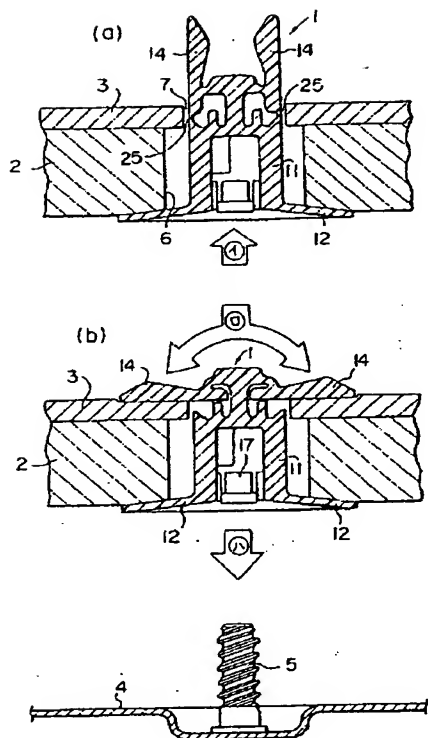
- (4) 軸部の挟持片の設けられた端には挟持片を開翼状態に保持する係止肩が設けられている実用新案登録請求の範囲第(1)項記載のクリップ。

図面の簡単な説明

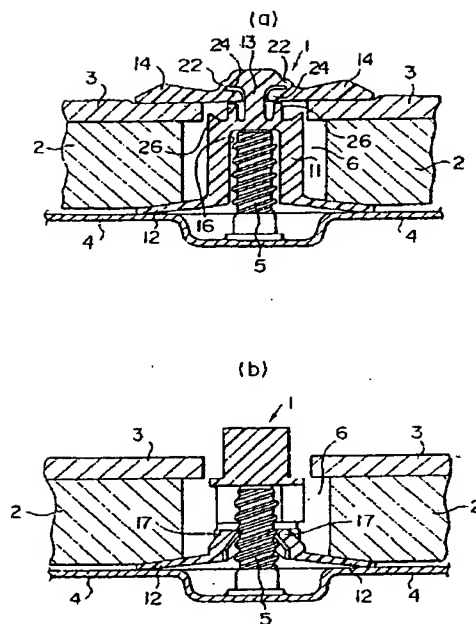
第1図a及びbは本考案によるクリップを用いて被取付部材を他の部材へ組付けた様子を示す、正面断面図及び側面断面図、第2図a及びbは、1つの取付け手順を示す説明図、第3図a～iは本考案によるクリップを示しており、同図aは平面図、同図bは正面図、同図cは底面図、同図dは側面図、同図eは同図aのe-e線断面図、同図fは同図bのf-f線断面図、同図gは同図aのg-g線断面図、同図hは同図bのh-h線断面図、同図iは同図bのi-i線断面図である。

1…クリップ、2、3…被取付部材、4…車体、5…ねじ付きスタッド、11…軸部、12…フランジ、13…支柱、14…挟持片、16…スタッド挿通孔、17…係止爪、22…ヒンジ部分、24…挟持片延長部、25…薄肉部、26…係止肩。

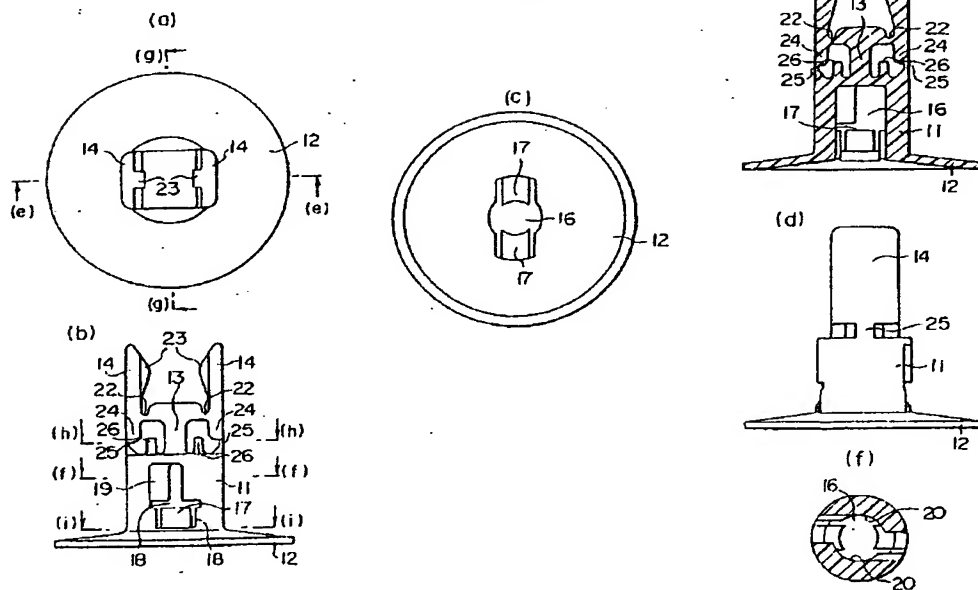
第2図



第1図



第3図



第3図

